

「公的医療機関等2025プラン」「2025年に向けた対応方針」 更新状況

資料4

上段 医療機関名 下段 開設者名	現状【病床種別】				現状(2019年)【病床機能】①					現状【指定・届出等】				2025年【病床機能】② ※下段は現状との差 (②-①)							機能変更あり	うち過剰な病床機能への転換	うち増床	2025年に向けた対応方針 (抜粋)										
	一般病床	療養病床	精神病床	感染症病床	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病床	地域包括ケア病床(包括ケア)	回復期リハビリテーション病床	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度急性期	急性期	回復期				慢性期	休棟中	介護医療院等	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定(増床・減床を含む)	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定				
【民間病院】																																		
藤沢御所見病院	許可病床	38	116			154		38		116		154	○																	●		●	2025年に向けて「地域包括ケアシステムの姿」として、御所見地域で高齢者の急性期医療として8床、地域包括ケア病床30床で行い、高齢者の一般的救急は診ることができ、15分圏内で藤沢湘南台病院、20分圏内で藤沢市民病院と連携可能。次年度より日常生活圏での医療体制を整えようと動いている。	・2018年中に脳神経内科常勤医を確保し、認知症対策支援の取組み可能。 ・2019年4月から皮膚科常勤医師を確保した。高齢者の皮膚疾患全体について、入院、在宅部門での強みになる。 ・2019年6月1日から地域包括ケア病床を10床から30床に増床。
	特定医療法人グループ・ブラクティス研究会 稼働病床	38	116			154		38		116		154	告示・輪番					30床			-	△38		-	+38				-				地域での医療需要をデータ化、医療提供内容の最適化を図り、職員全員が納得する医療・介護を展開	
茅ヶ崎新北陵病院	許可病床	180	109			289		58		231		289																		●	●	・茅ヶ崎の北部地域は、寒川を含め、南部地域よりも多くの特養、老健が設置されている(約10箇所)が、北部地域の救急医療に対応するために、救急告示病院を取得し、夜間・休日の救急体制を確立して、今後増加する高齢者の救急医療に対応予定。 ・県の示した定量的基準に当てはめると、「救急医療管理加算レセプト件数」(50床の病床で30件)の基準に合致するものと思われ、「急性期(地域密着型)」の役割を担う。 ・2023年中：一般病床44床について、急性期一般入院基本料又は地域一般入院料の施設基準を取得するとともに、夜間・休日の救急診療体制を確立し、救急告示病院を取得予定 ・2020年2月(茅ヶ崎中央病院建替Ⅰ期工事完了予定)：276床へ減床(茅ヶ崎中央病院から移設の13床を返還) ・2022年2月(茅ヶ崎中央病院建替Ⅱ期工事完了予定)：124床を茅ヶ崎中央病院へ移設し152床へ減床 ・2022年中：茅ヶ崎新北陵病院内の改修工事を経て、湘南さくら病院(精神科)より精神病床156床を移設(湘南さくら病院は廃止) ・ 急性期一般入院基本料又は地域一般入院料の施設基準を取得するとともに、夜間・休日の救急診療体制を確立し、救急告示病院を取得予定	・2018年中に脳神経内科常勤医を確保し、認知症対策支援の取組み可能。 ・2019年4月から皮膚科常勤医師を確保した。高齢者の皮膚疾患全体について、入院、在宅部門での強みになる。 ・2019年6月1日から地域包括ケア病床を10床から30床に増床。	
	医療法人社団 康心会 稼働病床	180	109			289		58		231		289					58床				-	+44	△58	△123				-		△137			・ <u>拡大する診療科・機能</u> <u>消化器科、循環器科、GI及び検査機器の更新、MRIの設置</u> ・回復期リハビリテーションの機能は茅ヶ崎中央病院へ移管 ・病床数に減少はあるが、慢性期の機能は維持	

上段 医療機関名 下段 開設者名	現状【病床種別】					現状(2019年)【病床機能】①					現状【指定・届出等】					2025年【病床機能】② ※下段は現状との差(②-①)					機能変更あり	うち過剰な病床機能への転換	うち増床	2025年に向けた対応方針(抜粋)						
	一般病床	療養病床	精神病床	感染症病床	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病棟)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	在宅療養後方支援病院	高度急性期	急性期				回復期	慢性期	休棟中	介護医療院等	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定(増床・減床を含む)
茅ヶ崎中央病院	許可病床	66				66	66				66									104	100	120			324	●	●	●	<p>・眼科については、湘南東部医療圏内の診療機関との連携を更に強化して、紹介患者を中心に検査・診断・治療(白内障手術に加え、緑内障の手術も含め)を行う。</p> <p>・耳鼻咽喉科については、「聴覚・人工内耳センター」として、補聴器外来の拡充等により、先天性の乳幼児から高齢者までの高度感温難聴に対して、人工内耳手術を含めた治療とその後のSTによるリハビリを積極的に実施。</p> <p>・救急告示病院を再度取得し、茅ヶ崎市の中心部という立地を生かして、茅ヶ崎市立病院、湘南東部総合病院と連携を取りながら、災害医療対応にも対応し、茅ヶ崎市の救急医療の充実に貢献。</p> <p>・「サイバーナイフ」の設置により、湘南東部医療圏に加え、設置がない県西部の医療圏の患者の利便性向上に資する。</p> <p>・「ハイブリッド手術室」の設置により、安全かつ迅速に心疾患・脳疾患に対応。</p> <p>・健診部門との一体的な運営のほか、「PET-CT」を最新機器に更新し、悪性腫瘍の早期発見ができる環境の整備</p>	<p>【2020年2月に拡充予定の診療科及び機能】</p> <p>・消化器科：健診部門との連携で、内視鏡検査の増加による癌の早期発見、内視鏡下治療への積極的な取り組み</p> <p>・循環器科：高齢者の心疾患への対応、自院でのハイブリッドシステムの導入によるカテーテル治療への対応</p> <p>・整形外科：脊椎脊髄等手術への対応</p> <p>・脳神経外科：サイバーナイフを活用した脳腫瘍手術、頭痛・認知症等に対する一般的な治療、MRIを用いた脳ドック等への積極的な取り組み</p> <p>・呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科：従前の取り組みに加え、各領域の診断・治療の充実化。</p>
医療法人社団 康心会	稼働病床	48				48	48				48								-	+38	+100	+120	-	-	+258	●	●	●		
湘南東部総合病院	許可病床	264	40	44		348	252	40	12		304	○	○							231	40	12			283	●			<p>・急性期から緩和医療までの医療を担う総合病院として、単なる総合病院でなく専門性の高い診療科を有する病院を構築。いわゆる地域完結型総合医療を目指す。患者が自分の居住地域で十分な医療を受けることができる。その後、在宅医療への展開など、地域に密接に関連した役割を担う。</p> <p>・2020年3月 21床減床 茅ヶ崎中央病院立替え工事に伴い病床移動していた21床分を開設に伴い返還</p> <p>※71床(急性期)の増床希望 病床配分が行われる場合、71床の増床を希望。</p>	
医療法人社団 康心会	稼働病床	264	40	44		348	248	40	12	4	304	告示	32床							△21	-	-	-	-	△21	●				

上段 医療機関名	下段 開設者名	現状【病床種別】					現状(2019年)【病床機能】①					現状【指定・届出等】					2025年【病床機能】② ※下段は現状との差(②-①)					機能変更あり	うち過剰な病床機能への転換	うち増床	2025年に向けた対応方針(抜粋)							
		一般病床	療養病床	精神病床	感染症病床	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病床	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度急性期	急性期	回復期				慢性期	休棟中	介護医療院等	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定(増床・減床を含む)	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定	
【公的医療機関】																																
藤沢市民病院	許可病床	530			6	536	315	215			530	○						460	70					530	●				・救命救急センターや地域がん診療連携拠点病院などの医療機能を最大限に活かし、高度急性期・急性期医療を担う地域の基幹病院としての役割を今後も継続 ・地域医療機関との機能分担及び連携をさらに進め、状態の安定した患者については退院支援を図り、切れ目のない医療提供体制を築いていく			
藤沢市	稼働病床	530			6	536	315	215			530	救命救急C告示						+145	△145	-	-	-	-	-								
茅ヶ崎市立病院	許可病床	401				401	7	394			401	○							401					401						・地域の基幹病院として急性期医療を担ってきた。この先も急性期病院としての役割を果たすことが期待されていると判断している。 ・救急患者の受入体制を整えるため、救急医療部門の拡張を進め、救急診察室の増設、観察室の拡張、救急専門医師の配置、消防との連携による救急ワークステーションの設置を目指している。		
茅ヶ崎市	稼働病床	401				401	7	394			401	告示						△7	+7	-	-	-	-	-						・2017~2018年度：別棟建設工事着手(2019~2020年度に別棟完成) ・2019~2020年度：本館内改修工事着工(内視鏡室の拡充、救急医療の充実のため) ・2021~2023年度：工事終了 ・口腔外科や形成外科の開設を目指し、患者の利便性を高める		